



平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月14日  
上場取引所 東

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社  
コード番号 3521 URL <http://www.econach.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
定時株主総会開催予定日 平成27年6月26日  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 奥村英夫  
(氏名) 加藤祐蔵  
有価証券報告書提出予定日 平成27年6月29日  
TEL 03-6418-4391

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期の連結業績(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期	821	△4.4	△8	—	△5	—	△58	—
26年3月期	859	△7.3	△19	—	△36	—	△45	—

(注) 包括利益 27年3月期 △75百万円 (—%) 26年3月期 △37百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
27年3月期	△0.70	—	△1.6	△0.1	△1.0
26年3月期	△0.59	—	△1.3	△0.7	△2.3

(参考) 持分法投資損益 27年3月期 一百万円 26年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期	6,142	4,011	62.2	44.72
26年3月期	5,490	3,824	65.0	45.58

(参考) 自己資本 27年3月期 3,820百万円 26年3月期 3,568百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年3月期	45	△1,202	607	567
26年3月期	△24	△856	749	1,117

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00	0	—	—
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00	0	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	700	69.7	△120	—	△150	—	△160	—	△1.91
通期	1,800	119.1	55	—	15	—	10	—	0.12

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) — 、 除外 — 社 (社名) —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

27年3月期	85,457,466 株	26年3月期	78,317,466 株
27年3月期	32,072 株	26年3月期	32,032 株
27年3月期	83,782,247 株	26年3月期	78,285,434 株

(参考) 個別業績の概要

平成27年3月期の個別業績(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期	208	6.4	3	—	4	—	△42	—
26年3月期	195	△11.3	△31	—	△56	—	△54	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期	△0.51	—
26年3月期	△0.70	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
27年3月期	5,526	3,814	3,814	3,553	69.0	44.66	44.66	
26年3月期	4,728	3,553	3,553	3,553	75.0	45.31	45.31	

(参考) 自己資本 27年3月期 3,814百万円 26年3月期 3,547百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。なお、詳細は、添付資料の3ページ「次連結会計年度の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当 .....	4
2. 企業集団の状況 .....	5
3. 経営方針 .....	5
(1) 会社の経営の基本方針 .....	5
(2) 目標とする経営指標 .....	5
(3) 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題 .....	5
4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
5. 連結財務諸表 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17
6. 個別財務諸表 .....	18
(1) 貸借対照表 .....	18
(2) 損益計算書 .....	20
(3) 株主資本等変動計算書 .....	21

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

#### ① 当連結会計年度の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により個人消費に弱さが見られたものの、金融・経済政策の効果等を背景に全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは、各事業において売上拡大を目指し新規取引先の開拓を積極的に行うとともに、合理化を図りコスト削減を行ってまいりました。

当連結会計年度の当社グループの売上高は8億2千1百万円（前連結会計年度比4.4%減）、営業損失8百万円（前連結会計年度は営業損失1千9百万円）、経常損失5百万円（前連結会計年度は経常損失3千6百万円）、当期純損失5千8百万円（前連結会計年度は当期純損失4千5百万円）となりました。

なお、各事業に帰属しない一般管理費等1億5千3百万円を全社費用に、受取保険金2千万円を営業外収益に、負ののれん発生益1千9百万円及び預託金償還益4千5百万円を特別利益に、減損損失8千5百万円を特別損失に、資産除去債務に対応する除去費用に係る将来加算一時差異について繰延税金負債を計上したことに伴い4千6百万円を法人税等調整額に、それぞれ計上しております。

単体の業績につきましては、当事業年度の売上高は2億8百万円（前事業年度比6.4%増）、営業利益3百万円（前事業年度は営業損失3千1百万円）、経常利益4百万円（前事業年度は経常損失5千6百万円）、当期純損失4千2百万円（前事業年度は当期純損失5千4百万円）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

#### <不動産事業>

当事業におきましては、東京都港区西麻布のテナントビルの安定した賃料収入を確保することができました。また、平成25年10月に取得した同ビルの賃貸住宅部分の新規入居者数が想定を上回るペースで推移したことにより、温浴施設建設のため東京都新宿区歌舞伎町の駐車場運営を終了したことによる収入減をカバーしました。

当事業の売上高は1億8千2百万円（前連結会計年度比4.1%増）、営業利益は1億2千万円（前連結会計年度比0.4%増）となりました。

#### <繊維事業>

子会社の日本レース株式会社が女性向けアウターウェア用刺繍レースの企画販売を中心に展開している当事業におきましては、豊富なサンプルを最大限活用して営業活動を展開しております。当連結会計年度は、前年度に続いてレース素材を使用したファッションが好まれる傾向にあり、高級感を求めるミセス系アパレルブランドからの受注を多く得られました。ヒット商品としては、綿レースのインチ柄の後染め商品等がありました。

当事業の売上高は1億円（前連結会計年度比3.4%増）、営業利益は9百万円（前連結会計年度比14.7%減）となりました。

#### <化粧品事業>

子会社の日本レース株式会社が化粧品及び医薬部外品のOEM製造・販売を行う当事業におきましては、主にインターネット販売、通信販売、理美容業界、エステサロン、ドラッグストア向けの商品を製造しており、洗顔料、シャンプー、リンス、クリーム、化粧水、美容液、育毛剤、歯磨き等、幅広く取り扱っております。当連結会計年度は、前年度に引き続きオールインワン美容液やホテル向けのアメニティ商品のOEM受注が好調でありました。また、採算性を重視したOEM受注や経費削減に注力いたしました。

当事業の売上高は2億4千7百万円（前連結会計年度比7.4%減）、営業利益は1千5百万円（前連結会計年度比59.9%増）となりました。

＜ゴルフ場事業＞

子会社の伊豆スカイラインカンントリー株式会社が伊豆スカイラインカンントリー倶楽部を運営する当事業におきましては、当連結会計年度は、平成26年10月の天候不良の影響等により年間来場者数は前年をやや下回りました。また、新規会員の入会者数が伸び悩みました。

当事業の売上高は2億9千1百万円（前連結会計年度比9.0%減）、営業利益は4百万円（前連結会計年度比77.9%減）となりました。

② 次連結会計年度の見通し

今後の見通しにつきましては、不動産事業におきましては、東京都港区西麻布のテナント及び賃貸住宅の安定収入を軸に、保有土地の有効利用等に取り組み業績拡大に努めます。

繊維事業におきましては、繁忙期における生産工場の確保、納期管理を徹底いたします。平成27年6月以降は、下期の受注確保のため企画商品を整備し、アパレルの春夏展示会に向け販促活動を行ってまいります。

化粧品事業におきましては、設備・品質管理を強化・徹底するとともに、既存及び新規のOEM受注先へ積極的に営業活動を展開いたします。また、製造・充填・仕上の一貫製造だけでなく、仕上工程のみの作業も積極的に受注し、ラインに空きがないよう取り組んでまいります。

ゴルフ場事業におきましては、伊豆スカイラインカンントリー倶楽部にて、より多くのお客様にご来場いただけるよう、各種ゴルフコンペ企画の提案やコースコンディションの維持に力を入れてまいります。老朽化したコース管理機械やクラブハウス施設の整備については、必要性に応じて切り替えを実施いたします。

新規事業として、温浴事業の開始を予定しております。東京都新宿区歌舞伎町に平成27年7月オープン予定の温浴施設では、都心でゆっくりと過ごせる高級感に溢れた快適な癒しの空間を提供し、多くのお客様にお楽しみいただけるよう努めてまいります。

第2四半期の連結業績予想は、東京都新宿区歌舞伎町の温浴施設に関して平成27年7月オープンまでの開業準備費用を織り込んでおり、売上高7億円、営業損失1億2千万円、経常損失1億5千万円、親会社株主に帰属する第2四半期純損失1億6千万円を見込んでおります。

通期の連結業績予想は、温浴施設のオープンが下期の収益に貢献することから、売上高18億円、営業利益5千5百万円、経常利益1千5百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1千万円を見込んでおります。

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき当社において判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億5千2百万円増加し61億4千2百万円となりました。これは、主に建設仮勘定の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億6千4百万円増加し、21億3千1百万円となりました。これは、短期借入金や資産除去債務が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億8千7百万円増加し、40億1千1百万円となりました。これは、株式の発行により資本金及び資本剰余金が増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ5億4千9百万円減少し、5億6千7百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、4千5百万円（前連結会計年度は2千4百万円の使用）となりました。

これは主に減損損失や減価償却費の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、12億2百万円（前連結会計年度は8億5千6百万円の使用）となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、6億7百万円（前連結会計年度は7億4千9百万円の獲得）となりました。

これは主に短期借入れや株式の発行による収入によるものであります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
自己資本比率（％）	72.4	75.3	65.0	62.2
時価ベースの自己資本比率（％）	68.7	76.7	69.9	76.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	2.4	4.7	—	30.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	30.5	7.3	—	1.7

（注）1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 各指標は、次の算式により計算しております。

(1) 自己資本比率 : 自己資本／総資産

(2) 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式を除く）により算出しております。

(3) キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／営業キャッシュ・フロー

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー／利払い

(5) 平成26年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

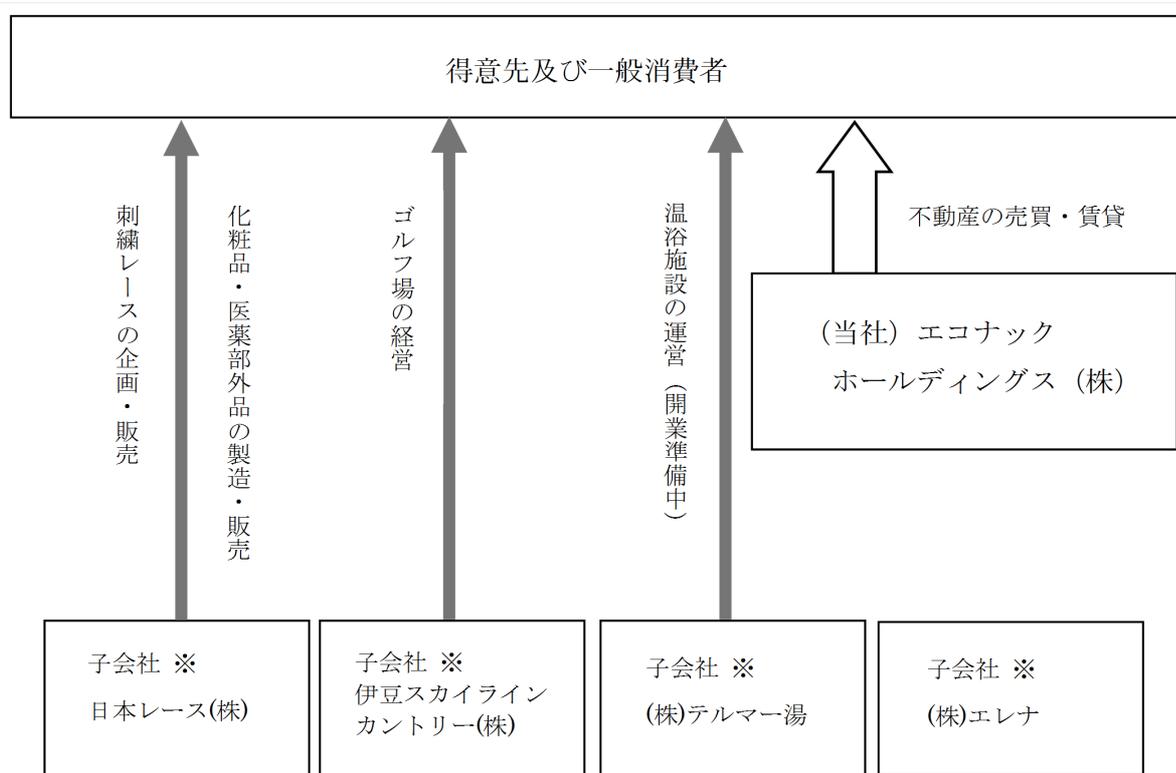
### (3) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

利益配分に関する基本方針につきましては、株主に対する利益還元が会社の重要課題のひとつとして認識いたしております。今後、不動産、繊維、化粧品、ゴルフ場及び平成27年7月開始予定の温浴の各事業において収益を拡大することにより、配当可能利益の確保に努めてまいります。

当期の財務状況により、当期の配当金につきましては誠に遺憾ながら無配を継続させていただきます。

## 2. 企業集団の状況

当社の企業集団は、当社、子会社4社で構成され、不動産の売買・賃貸、刺繍レースの企画・販売、化粧品・医薬部外品の製造・販売及びゴルフ場の経営を中心として事業活動を行っております。各事業の系統図は、下記のとおりであります。



※は連結子会社

不動産事業：当社が不動産の売買・賃貸を行っております。

繊維事業：日本レース(株)が刺繍レースを企画し仕入れて販売しております。

化粧品事業：日本レース(株)が化粧品、医薬部外品等を製造し販売しております。

ゴルフ場事業：伊豆スカイラインカントリー(株)がゴルフ場の経営を行っております。

温泉事業：平成27年7月（予定）より、(株)テルマー湯が温泉施設の運営を行います。

## 3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針、(2) 目標とする経営指標、(3) 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題は、平成24年3月期決算短信（平成24年5月15日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略します。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

（当社ホームページ（IR情報ページ））

<http://www.econach.co.jp/>

（東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ））

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

## 4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、現時点では日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

5. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当連結会計年度 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,117,442	567,848
受取手形及び売掛金	120,804	128,925
商品及び製品	8,057	13,107
仕掛品	2,902	5,144
原材料及び貯蔵品	37,025	35,866
販売用不動産	307,021	310,634
短期貸付金	31,572	30,218
その他	18,352	10,976
貸倒引当金	△2,793	△4,152
流動資産合計	1,640,386	1,098,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	353,770	454,858
機械装置及び運搬具（純額）	48,379	38,230
工具、器具及び備品（純額）	22,249	15,454
コース勘定	362,224	362,224
土地	2,277,975	2,192,617
建設仮勘定	527,010	1,727,312
有形固定資産合計	3,591,609	4,790,699
無形固定資産		
のれん	7,021	2,340
借地権	83,445	83,445
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウェア	418	656
無形固定資産合計	92,972	88,529
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	176,853	176,862
貸倒引当金	△11,816	△12,282
投資その他の資産合計	165,637	165,180
固定資産合計	3,850,219	5,044,409
資産合計	5,490,605	6,142,979

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当連結会計年度 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	23,840	34,270
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	83,568	483,568
未払法人税等	5,783	7,013
未払金	29,486	35,845
その他	50,906	75,933
流動負債合計	193,583	1,036,631
固定負債		
長期借入金	978,414	494,846
繰延税金負債	767	47,484
再評価に係る繰延税金負債	45,847	41,601
資産除去債務	2,853	147,546
長期預り金	396,326	325,301
その他	48,769	37,718
固定負債合計	1,472,978	1,094,499
負債合計	1,666,562	2,131,130
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,374,765	3,527,811
資本剰余金	149,940	244,825
利益剰余金	△36,997	△37,123
自己株式	△2,076	△2,078
株主資本合計	3,485,630	3,733,434
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	82,792	87,037
その他の包括利益累計額合計	82,792	87,037
新株予約権	6,211	—
少数株主持分	249,408	191,376
純資産合計	3,824,043	4,011,848
負債純資産合計	5,490,605	6,142,979

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）
売上高		
売上高	684,835	680,609
不動産事業収益	174,925	140,977
売上高合計	859,760	821,587
売上原価		
売上原価	510,029	485,058
不動産事業売上原価	46,191	52,052
売上原価合計	556,221	537,110
売上総利益	303,539	284,476
販売費及び一般管理費	322,942	292,898
営業損失（△）	△19,403	△8,421
営業外収益		
受取利息	5,292	4,844
受取配当金	9	9
受取保険金	—	20,000
その他	17,487	8,758
営業外収益合計	22,789	33,613
営業外費用		
支払利息	16,417	26,775
減価償却費	1,373	1,275
支払手数料	19,047	—
その他	3,248	3,106
営業外費用合計	40,086	31,156
経常損失（△）	△36,700	△5,964
特別利益		
負ののれん発生益	540	19,894
債務免除益	2,000	—
預託金償還益	—	45,467
特別利益合計	2,540	65,361
特別損失		
固定資産除却損	0	250
減損損失	1,360	85,358
事務所移転費用	168	—
特別損失合計	1,528	85,609
税金等調整前当期純損失（△）	△35,688	△26,211
法人税、住民税及び事業税	2,243	2,619
法人税等調整額	△511	46,717
法人税等合計	1,732	49,336
少数株主損益調整前当期純損失（△）	△37,420	△75,548
少数株主利益又は少数株主損失（△）	8,432	△17,262
当期純損失（△）	△45,852	△58,285

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）
少数株主損益調整前当期純損失（△）	△37,420	△75,548
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
包括利益	△37,420	△75,548
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	△45,852	△58,285
少数株主に係る包括利益	8,432	△17,262

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,374,765	149,940	7,979	△2,076	3,530,608
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					
当期純損失（△）			△45,852		△45,852
自己株式の取得					
土地再評価差額金の取崩			875		875
欠損填補					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	△44,977	－	△44,977
当期末残高	3,374,765	149,940	△36,997	△2,076	3,485,630

	その他の包括利益累計額		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	83,667	83,667	6,211	242,641	3,863,128
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					
当期純損失（△）					△45,852
自己株式の取得					
土地再評価差額金の取崩	△875	△875			
欠損填補					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	－	－	－	6,766	6,766
当期変動額合計	△875	△875	－	6,766	△39,085
当期末残高	82,792	82,792	6,211	249,408	3,824,043

当連結会計年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,374,765	149,940	△36,997	△2,076	3,485,630
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	153,045	153,045			306,091
当期純損失（△）			△58,285		△58,285
自己株式の取得				△2	△2
土地再評価差額金の取崩					
欠損填補		△58,160	58,160		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	153,045	94,885	△125	△2	247,803
当期末残高	3,527,811	244,825	△37,123	△2,078	3,733,434

	その他の包括利益累計額		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	82,792	82,792	6,211	249,408	3,824,043
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					306,091
当期純損失（△）					△58,285
自己株式の取得					△2
土地再評価差額金の取崩					
欠損填補					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	4,245	4,245	△6,211	△58,031	△59,998
当期変動額合計	4,245	4,245	△6,211	△58,031	187,805
当期末残高	87,037	87,037	—	191,376	4,011,848

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失（△）	△35,688	△26,211
減価償却費	50,132	69,164
減損損失	1,360	85,358
のれん償却額	4,681	4,681
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,251	1,825
受取利息及び受取配当金	△5,301	△4,854
支払利息	16,417	26,775
有形固定資産除却損	0	250
負ののれん発生益	△540	△19,894
売上債権の増減額（△は増加）	△23,202	△8,120
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,653	△9,746
仕入債務の増減額（△は減少）	4,988	10,430
未払消費税等の増減額（△は減少）	△7,392	18,252
未収消費税等の増減額（△は増加）	△2,947	2,947
長期預り金の増減額（△は減少）	△46,486	△71,025
その他の資産の増減額（△は増加）	28,194	△143,745
その他の負債の増減額（△は減少）	19,098	130,322
小計	715	66,408
利息及び配当金の受取額	5,248	4,812
利息の支払額	△17,710	△27,448
法人税等の還付額	—	3,597
法人税等の支払額	△12,387	△2,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	△24,134	45,356
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△873,185	△1,182,802
無形固定資産の取得による支出	△83,645	△600
差入保証金の差入による支出	△150,000	—
差入保証金の回収による収入	536	442
子会社株式の取得による支出	△1,125	△20,874
貸付金の回収による収入	250,960	1,353
出資金の払込による支出	—	△1
出資金の回収による収入	—	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△856,459	△1,202,452
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,800	400,000
短期借入金の返済による支出	△100,800	—
長期借入れによる収入	800,000	—
長期借入金の返済による支出	△46,286	△83,568
株式の発行による収入	—	299,880
リース債務の返済による支出	△4,595	△8,807
自己株式の取得による支出	—	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	749,119	607,502
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△131,475	△549,594
現金及び現金同等物の期首残高	1,248,917	1,117,442
現金及び現金同等物の期末残高	1,117,442	567,848

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業持株会社であり、当社主導のもと、グループ全体の経営の効率化を図るとともに、製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門の権限と責任を明確化することで経営の自由度を高め、独自性を発揮して当社グループを発展させる体制を目指しております。

したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「不動産事業」、「繊維事業」、「化粧品事業」及び「ゴルフ場事業」の4つを報告セグメントとしております。

「不動産事業」は当社がテナントビル及び住居の賃貸、不動産の売買・仲介を行っております。「繊維事業」は日本レース(株)繊維部門が刺繍レースを中心に企画し、仕入れて販売しております。「化粧品事業」は日本レース(株)化粧品部門が化粧品、医薬部外品等を製造し販売しております。「ゴルフ場事業」は伊豆スカイラインカントリー(株)がゴルフ場を経営しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	
売上高					
外部顧客への売上高	174,925	96,887	267,548	320,399	859,760
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	174,925	96,887	267,548	320,399	859,760
セグメント利益	119,615	10,903	9,546	22,484	162,549
セグメント資産	2,921,140	94,859	142,914	1,011,962	4,170,878
その他の項目					
減価償却費	19,032	—	9,610	20,089	48,732
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	951,208	—	6,628	23,159	980,996

当連結会計年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				合計
	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	
売上高					
外部顧客への売上高	182,102	100,227	247,649	291,607	821,587
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	182,102	100,227	247,649	291,607	821,587
セグメント利益	120,148	9,299	15,259	4,964	149,672
セグメント資産	4,234,744	124,205	140,456	872,727	5,372,134
その他の項目					
減価償却費	34,661	—	9,204	24,008	67,874
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,345,189	—	1,528	7,428	1,354,145

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	162,549	149,672
のれんの償却額	△4,681	△4,681
全社費用（注）	△177,272	△153,412
連結財務諸表の営業利益又は営業損失（△）	△19,403	△8,421

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,170,878	5,372,134
全社資産（注）	1,319,727	770,844
連結財務諸表の資産合計	5,490,605	6,142,979

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門の資産であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	48,732	67,874	1,399	1,289	50,132	69,164
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	980,996	1,354,145	—	—	980,996	1,354,145

【関連情報】

前連結会計年度（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高（千円）	関連するセグメント名
㈱BRAND TOKYO	111,600	不動産事業

当連結会計年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高（千円）	関連するセグメント名
㈱BRAND TOKYO	111,600	不動産事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

（単位：千円）

	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	—	1,360	1,360

当連結会計年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

（単位：千円）

	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	85,358	—	85,358

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

（単位：千円）

	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	合計
当期償却額	—	—	—	4,681	4,681
当期末残高	—	—	—	7,021	7,021

当連結会計年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

（単位：千円）

	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	合計
当期償却額	—	—	—	4,681	4,681
当期末残高	—	—	—	2,340	2,340

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

ゴルフ場事業において平成25年8月22日に、子会社である伊豆スカイラインリゾート株式会社の株式を追加取得したため、540千円の負ののれん発生益を計上しております。

当連結会計年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

ゴルフ場事業において平成26年6月30日に、子会社である伊豆スカイラインリゾート株式会社の株式を追加取得したため、19,894千円の負ののれん発生益を計上しております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）
1株当たり純資産額	45.58円	44.72円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額（△）	△0.59円	△0.70円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり純損失金額であるため記載しておりません。	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり純損失金額であるため記載しておりません。

（注）1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額（△）		
当期純利益金額又は当期純損失金額（△）（千円）	△45,852	△58,285
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益金額又は当期純損失金額（△）（千円）	△45,852	△58,285
期中平均株式数（千株）	78,285	83,782

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

6. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	895,755	350,912
売掛金	2,129	2,243
販売用不動産	307,021	310,634
貯蔵品	190	48
前払費用	3,853	4,616
その他	11,371	2,313
貸倒引当金	△25	△74
流動資産合計	1,220,296	670,695
固定資産		
有形固定資産		
建物	454,222	599,109
減価償却累計額	△222,847	△256,514
建物（純額）	231,374	342,594
構築物	24,040	24,040
減価償却累計額	△23,569	△23,613
構築物（純額）	470	426
機械及び装置	54,725	54,725
減価償却累計額	△50,997	△52,863
機械及び装置（純額）	3,727	1,861
車両運搬具	1,008	—
減価償却累計額	△958	—
車両運搬具（純額）	50	—
工具、器具及び備品	8,137	8,137
減価償却累計額	△1,355	△3,594
工具、器具及び備品（純額）	6,782	4,542
土地	1,940,115	1,940,115
建設仮勘定	527,010	1,727,312
有形固定資産合計	2,709,532	4,016,854
無形固定資産		
借地権	83,445	83,445
電話加入権	1,776	1,776
無形固定資産合計	85,222	85,222
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
関係会社株式	550,186	591,061
出資金	60	30
破産更生債権等	57,404	—
長期前払費用	3	—
その他	162,661	162,219
貸倒引当金	△57,404	—
投資その他の資産合計	713,510	753,910
固定資産合計	3,508,265	4,855,986
資産合計	4,728,561	5,526,682

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当事業年度 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,650	—
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	78,564	478,564
未払金	15,220	24,884
未払費用	1,859	1,514
未払法人税等	4,852	5,733
前受金	2,077	12,309
預り金	329	333
その他	4,756	11,940
流動負債合計	109,310	935,279
固定負債		
長期借入金	953,434	474,870
繰延税金負債	—	46,809
再評価に係る繰延税金負債	45,847	41,601
資産除去債務	—	144,627
長期預り金	66,496	68,621
固定負債合計	1,065,777	776,529
負債合計	1,175,088	1,711,809
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,374,765	3,527,811
資本剰余金		
資本準備金	149,940	244,825
資本剰余金合計	149,940	244,825
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△58,160	△42,723
利益剰余金合計	△58,160	△42,723
自己株式	△2,076	△2,078
株主資本合計	3,464,468	3,727,835
評価・換算差額等		
土地再評価差額金	82,792	87,037
評価・換算差額等合計	82,792	87,037
新株予約権	6,211	—
純資産合計	3,553,473	3,814,872
負債純資産合計	4,728,561	5,526,682

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）	当事業年度 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）
<b>売上高</b>		
不動産事業収益	174,925	182,402
経営指導料	20,796	25,800
売上高合計	195,721	208,202
<b>売上原価</b>		
不動産事業売上原価	46,191	52,052
売上原価合計	46,191	52,052
売上総利益	149,529	156,149
<b>販売費及び一般管理費</b>		
役員報酬	27,700	26,700
給料	23,740	20,850
賃借料	18,725	16,841
諸会費・手数料	43,827	42,589
厚生費	19,681	7,950
租税公課	31,603	19,271
減価償却費	4,231	6,921
貸倒引当金繰入額	25	48
その他	11,705	11,183
販売費及び一般管理費合計	181,242	152,356
営業利益又は営業損失（△）	△31,712	3,793
<b>営業外収益</b>		
受取利息	206	151
貸付金利息	23	—
固定資産賃貸料	6,000	6,000
受取手数料	1,200	1,200
受取保険金	—	20,000
受取家賃	3,602	—
その他	1,427	3,085
営業外収益合計	12,459	30,437
<b>営業外費用</b>		
支払利息	15,068	24,863
貸付資産関連費	2,094	2,032
減価償却費	1,373	1,275
支払手数料	19,047	—
その他	—	1,686
営業外費用合計	37,584	29,857
経常利益又は経常損失（△）	△56,837	4,372
<b>特別利益</b>		
債務免除益	2,000	—
特別利益合計	2,000	—
<b>特別損失</b>		
減損損失	1,360	—
事務所移転費用	168	—
特別損失合計	1,528	—
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	△56,365	4,372
法人税、住民税及び事業税	△1,469	287
法人税等調整額	△484	46,809
法人税等合計	△1,954	47,096
当期純損失（△）	△54,411	△42,723

（3）株主資本等変動計算書

前事業年度（自平成25年4月1日 至平成26年3月31日）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
当期首残高	3,374,765	149,940	—	149,940	△4,624	△2,076	3,518,004
当期変動額							
新株の発行（新株予約権の行使）							
当期純損失（△）					△54,411		△54,411
自己株式の取得							
土地再評価差額金の取崩					875		875
準備金から剰余金への振替							
欠損填補							
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	—	—	—	—	△53,535	—	△53,535
当期末残高	3,374,765	149,940	—	149,940	△58,160	△2,076	3,464,468

（単位：千円）

	評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	土地再評価差額金		
当期首残高	83,667	6,211	3,607,884
当期変動額			
新株の発行（新株予約権の行使）			
当期純損失（△）			△54,411
自己株式の取得			
土地再評価差額金の取崩	△875		
準備金から剰余金への振替			
欠損填補			
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			
当期変動額合計	△875	—	△54,411
当期末残高	82,792	6,211	3,553,473

当事業年度（自平成26年4月1日 至平成27年3月31日）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
当期首残高	3,374,765	149,940	—	149,940	△58,160	△2,076	3,464,468
当期変動額							
新株の発行（新株予約権の行使）	153,045	153,045		153,045			306,091
当期純損失（△）					△42,723		△42,723
自己株式の取得						△2	△2
土地再評価差額金の取崩							
準備金から剰余金への振替		△58,160	58,160	—			
欠損填補			△58,160	△58,160	58,160		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	153,045	94,885	—	94,885	15,436	△2	263,366
当期末残高	3,527,811	244,825	—	244,825	△42,723	△2,078	3,727,835

（単位：千円）

	評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	土地再評価差額金		
当期首残高	82,792	6,211	3,553,473
当期変動額			
新株の発行（新株予約権の行使）			306,091
当期純損失（△）			△42,723
自己株式の取得			△2
土地再評価差額金の取崩			
準備金から剰余金への振替			
欠損填補			
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	4,245	△6,211	△1,966
当期変動額合計	4,245	△6,211	261,399
当期末残高	87,037	—	3,814,872